

人間力を高める教育の充実【越前市教育振興ビジョン】

<わかりやすく深まる授業の実現> <いのちをはぐくむ教育の推進> <夢や目標を抱く子どもの育成> <地域と協働した学校づくりの推進>

令和5年度

神山小学校スクールプラン

越前市神山小学校

学習指導要領 三つの柱
実際の社会で生きて働く知識及び技能
未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等
学んだことを活かす学びに向かう力、人間性等

めざす児童像

- よく考え工夫する子: 学習意欲をもち、すすんで学ぼうとする子
自分の思いや考えを、説明したり表現したりできる子
- 助け合い思いやりのある子: 感謝の気持ちをもち、人にやさしい心で接することのできる子
自己有用感をもち、自分に自信をもつことのできる子
- 明るくたくましい子: 自らすすんで健康な心身をつくろうとする子
基本的な生活習慣を確立し、生活力の向上を図ろうとする子

児童の実態
・学校のきまりを守り、落ち着いて授業に取り組める。
・仲良く協力して行事を行う。
・純朴で欠席が少ない。

学校の課題
・学力の定着を、さらに深める。
・失敗を恐れない積極性やチャレンジ精神を養う。
・自主性を育てる。
・挨拶のできる子に育てる。

学校教育目標

自ら学ぶ神山っ子

重点目標

A 命を育む教育の推進

- ◎いのちを大切に、感謝・奉仕の精神にみちた、生きる喜びをもつ子を育てる。
- 神山小学校いじめ防止基本方針に基づき、家庭・地域と双方向に連携しながら、いじめ0(ゼロ)、不登校0(ゼロ)を目指す。

B 学習指導の充実

- ◎自分の考えをもち、伝え合い、高め合う力の育成を図る。
- 学習意欲を継続できる授業スタイルを確立する。
- 読書への関心を高め、本に親しむ資質を育てる。

C 健康安全教育の推進

- ◎危機管理の周知・徹底を図り、安全な環境をつくる。
- 情報を正しく判断し、健全な生活習慣や体力づくりなどで自らの健康と安全を保ち、強くたくましく生き抜く子を育てる。

D 地域と協働した学校づくり

- ◎地域の自然や歴史・文化・伝統を、地域人材を活用して学習し、郷土に対する誇りと愛情をもち、社会に貢献できる子を育てる。
- 家庭・地域との連携・協力を深め、地域に根ざした持続可能な学校づくりを目指し、説明責任を果たす。

- A
- ① 道徳教育、縦割り活動の充実を図り、子どもの居場所づくりや絆を深める集団を作る。→学校へ通うのが楽しいと答える児童 95%以上
 - 2 コミュニケーション力をつけ、明るい挨拶ができる児童を育てる。→「えめおす」挨拶ができる児童 85%以上
 - 3 係の仕事や家庭での手伝いを通して、自己有用感を高める。→自分の役割をきちんと果たすと答える児童 90%以上

- B
- ① 目的に応じた効果的なICTを活用を含め、つけたい力を明確にし、意欲を継続できる授業スタイルを確立する。→授業がわかると答える児童95%以上
 - 2 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着に努める。→授業がわかると答える児童95%以上
 - 3 子どもが本を手に取りたくなるような環境を整える。→読書や記事を読むことが好きと答える児童 80%以上

- C
- ① 学校内外における安全対策や、登下校の安全確保に努める。(危機管理) →学校のきまりや元気チェック、交通ルールを守り、健康で安全に生活する児童 95%以上
 - 2 メディアの利用の仕方と健康の関わりについて、興味関心を高める指導を行う。→わが家のインターネット10カ条などのルールを守る児童 85%以上

- D
- ① ふるさとを愛し、誇りと夢をもつ児童を育成するために、各学年で地域と協働した体験活動を年間計画に計画的に取り入れる。→地域に誇りをもつ児童 90%以上
 - 2 学校の様子や、地域との連携を、積極的に発信する。→学校は教育内容を適切に伝えていると答える保護者 95%以上

研究テーマ

思いを伝え合い、考えを深め合うことのできる神山っ子の育成
～ 学びを深める「神山スタイル」の授業展開を通して ～

子どもとふれあう時間を増やす業務改善

時間外在校等時間80時間以上教員0(ゼロ)、年休を取得しやすい職場づくりを目標とし、

① 会議・研修等の時間設定

② 保護者との連絡やお便りのデジタル化推進

③ DX推進による業務効率の向上

④ 目標退勤時間(19時まで)と各自ノー残業デーの設定と遵守

⑤ 校務分掌、学校行事の改善と全体業務の適正化